

**CASBEE-広島 (2010年ver.1)**  
**ライオンズ新井ロマスターズゲート**

用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります  
 欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE広島 2009年版  
 ■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb\_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.1</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>					<b>3.2</b>
<b>1 音環境</b>		<b>2.6</b>	0.15	<b>2.9</b>	1.00			<b>2.9</b>
<b>1.1 騒音</b>		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.40			
1 暗騒音レベル		3.0	1.00	3.0	1.00			
1.2 遮音		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.9</b>	0.40			
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30			
2 界壁遮音性能	D-50		-	4.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	LL-40		-	5.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	LH-50		-	4.0	0.20			
1.3 吸音		<b>1.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.20			
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.6</b>	0.35	<b>3.0</b>	1.00			<b>2.9</b>
<b>2.1 室温制御</b>		<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.63			
1 室温設定		3.0	0.63	-	-			
3 外皮性能		3.0	0.38	3.0	1.00			
4 ゾーン別制御性			-		-			
<b>2.2 湿度制御</b>		<b>1.0</b>	0.20	-	-			
<b>2.3 空調方式</b>		<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.38			
<b>3 光・視環境</b>		<b>2.4</b>	0.25	<b>3.7</b>	1.00			<b>3.5</b>
<b>3.1 屋光利用</b>		<b>1.8</b>	0.43	<b>3.5</b>	0.50			
1 屋光率	洋室屋光率1.8	1.0	0.60	4.0	0.50			
2 方位別開口			-		0.30			
3 屋光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20			
<b>3.2 グレア対策</b>		-	-	<b>4.0</b>	0.50			
2 屋光制御	カーテン、庇の2種類で制御		-	4.0	1.00			
<b>3.3 照度</b>		<b>3.0</b>	0.21	-	-			
1 照度		3.0	1.00	-	-			
<b>3.4 照明制御</b>		<b>3.0</b>	0.36	-	-			
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.6</b>	0.25	<b>3.6</b>	1.00			<b>3.6</b>
<b>4.1 発生源対策</b>		<b>4.0</b>	0.60	<b>4.0</b>	0.63			
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆を全面的に使用	4.0	1.00	4.0	1.00			
<b>4.2 換気</b>		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.38			
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能			-	3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33			
<b>4.3 運用管理</b>			-		-			
1 CO <sub>2</sub> の監視			-		-			
2 喫煙の制御			-		-			
<b>Q2 サービス性能</b>		-	<b>0.30</b>	-	-			<b>3.3</b>
<b>1 機能性</b>		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.6</b>	1.00			<b>3.5</b>
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>		<b>3.0</b>	0.60	<b>4.0</b>	0.60			
1 広さ・収納性			-		-			
2 高度情報通信設備対応	全戸に100Mbitのインターネットを提供		-	4.0	1.00			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00		-			
<b>1.2 心理性・快適性</b>		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.40			
1 広さ感・景観			-	3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース			-		-			
3 内装計画		3.0	1.00	3.0	0.50			
<b>1.3 維持管理</b>			-		-			
1 維持管理に配慮した設計			-		-			
2 維持管理用機能の確保			-		-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.2</b>	0.31		-			<b>3.2</b>
<b>2.1 耐震・免震</b>		<b>3.0</b>	0.48		-			
1 耐震性		3.0	0.80		-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20		-			
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>		<b>3.6</b>	0.33		-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23		-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	外壁タイル	5.0	0.23		-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		2.0	0.09		-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08		-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水、排水、通気管はB、Eは不使用	5.0	0.15		-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23		-			

2.4 信頼性			3.4	0.19	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備	全戸節水型大便器、配管系統の分離	4.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備	光ケーブルあり、地下への設置はない	4.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.0	0.29	3.1	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり			-	-	3.2	0.50	
1	階高のゆとり	2.91m	-	-	4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		-	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.9
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		敷地内に緑地を設け外観は総タイル貼りとしている。	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30	-	-	3.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	道路沿いに緑地を設け、防犯カメラの設置、駐車場は全戸数分あり	4.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.8
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.40	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20	-	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		全戸エコキュート	5.0	0.40	-	-	5.0
4 効率的運用			-	-	-	-	-
4.1	モニタリング		-	-	-	-	-
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.4
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4
1.1	節水	水栓は節湯B型、節水型便器	4.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水再利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-	
2	雑排水再利用システム導入の有無		-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.5	0.63	-	-	3.5
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	高炉セメント(杭)	4.0	0.20	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	CFシート(管理事務室床)、長尺塩ビシート(外廊下床)、再生骨材の路盤材利用	5.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.22	-	-	3.2
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.3	0.68	-	-	
1	消火剤	ハロン消火剤の使用はない	4.0	0.33	-	-	
2	断熱材		3.0	0.33	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮		LCCO2:94%	3.4	0.33	-	-	3.4
2 地域環境への配慮			3.5	0.33	-	-	3.5
2.1	大気汚染防止	燃焼機器を使用していない	5.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.3	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
3	交通負荷抑制	自転車+バイク92台、駐車44台/全44戸	4.0	0.33	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2	風害、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3	光害の抑制		4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	チェックリストの過半をみたし、広告物は無し	5.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	